

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ	(参考) 前年度事業名称※
0822	災害に強い施設の構築事業（設備の災害対策）	公営企業局	浄水管理センター	2	－
0823	水質の検査・管理事業	公営企業局	浄水管理センター	3	(上水) 水質管理能力の向上
0823	施設の更新・改良事業（設備の更新・改良）	公営企業局	浄水管理センター	4	(上水) 施設更新・改良事業（浄水管理センター分）
					(簡水・北条) 施設更新・改良事業
					(工水) 施設更新・改良事業（浄水管理センター分）
0823	施設の運転・維持管理事業	公営企業局	浄水管理センター	5	(上水) 業務委託等（浄水管理センター分）
					(簡水・北条) 業務委託等（浄水管理センター分）
					(工水) 業務委託等
					(上水) 修繕等（浄水管理センター分）
					(簡水・北条) 修繕等（浄水管理センター分）
					(工水) 修繕等（浄水管理センター分）
					(上水) 補償
					(工水) 補償
					(上水) 漏水防止対策事業（浄水管理センター分）
0823	水資源の保全事業（水質保全策の推進等）	公営企業局	浄水管理センター	6	－
0911	脱炭素化事業（水道LED化事業）	公営企業局	浄水管理センター	7	－

※令和7年度から事務事業体系等を見直し、変更しています。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当G	施設の更新・修繕担当	連絡先	977-7439
------	-------	-----	----------	-----	------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

1.事業概要【Plan】		公営企業局事業区分	上水	○	簡水	工水	下水
事業名	災害に強い施設の構築事業(設備の災害対策)	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)			事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
0822							
政策【分野】	にぎわいと住みやすいまちをつなぐ【都市空間】	各種計画該当	総合計画(実施計画)			市長公約	
政策別未来像	都会と田舎の住みやすさが共存している		○			－	
施策	安全な都市基盤の整備	根拠法令	水道法第22条の4、水道ビジョンまつやま2019				
主な取組	災害に強い都市基盤・施設の整備						
目的・背景	【目的】地震などの災害に強い水道を構築することを目的としている。 【背景】災害時でも、命を守るさまざまな活動に必要な水道水を確保する。						
対象・内容	【対象】水道事業に使用している施設、設備 【内容】災害等での停電対策として、施設や設備の更新にあわせて、浄水場の非常用自家発電設備を整備 水源地などの耐震化・耐水化工事を実施						

2.事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	水道事業会計	款	資本的支出	項	水道建設改良費	目	取水施設費ほか
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	水源地の耐震化・耐水化 (設備)工事		50,459
予算 (千円)	事業費計	133,616	471,348	908,039					
	国費・県費		35,200	56,425					
	市債								
	その他		52,800	80,700					
	一般財源	133,616	383,348	770,914					
決算 (千円)	事業費計	69,100	94,542			主な取組 内容 【R7】	・表新田水源地電気設備改修工事 ・表新田水源地機械設備改修工事 ・市之井手浄水場非常用発電設備更新工事		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	69,100	94,542						
	(執行率)	52%	20%						
人役	正規職員	0.0	2.0	2.0		特記 事項	297,000千円をR7年度からR8年度へ繰 り越し		
	その他								
	合計	0.0	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和10年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果 指標	耐震化・耐水化工事実施 施設数		目標	2	3	5	9	計画的な施設の耐震化・耐水化などにより、地震などの災害に強い水道を構築している。	
			実績	2	3				
	累計で増	施設	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	計画的な施設の耐震化・耐水化などにより、地震などの災害に強い水道を構築している。							
課題	特になし					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	地震などの災害に強い水道を構築するため、引き続き、計画的な施設の耐震化・耐水化などを行う。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当G	水質検査担当	連絡先	977-0510
------	-------	-----	----------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

1.事業概要【Plan】		公営企業局事業区分		上水	○	簡水	○	工水	○	下水	
事業名	水質の検査・管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営						
0823											
政策【分野】	にぎわいと住みやすいまちをつなぐ【都市空間】	各種計画該当	総合計画(実施計画)			市長公約					
政策別未来像	都会と田舎の住みやすさが共存している		－			－					
施策	安全な都市基盤の整備	根拠法令	水道法4条、水道法20条、水道法22条、水道ビジョンまつやま2019								
主な取組	安定した水の供給と汚水処理										
目的・背景		【目的】安全で良質な水道水をお客さまに届けるため、水質を適正に管理するとともに精度の高い検査を行うことを目的としている。 【背景】水質の検査・管理により、安全で安心できる水の安定供給をする必要がある。									
対象・内容		【対象】水道事業によって給水している水 【内容】水質検査の信頼性を保証する規範である優良試験所規範(GLP:Good Laboratory Practice)の認定継続水安全計画、水質検査計画に基づく水道水質の管理を行い、水の安定供給を図る。									

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	水道事業会計ほか	款	水道事業費用 ほか	項	営業費用ほか	目	原水及び浄水費 ほか
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	水質検査用機器の購入及び修繕費用		33,694
予算 (千円)	事業費計	20,574	71,646	126,684			水質検査用薬品・消耗品類の購入費用		5,270
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	20,574	71,646	126,684		給水栓定期検査の委託料		5,028	
決算 (千円)	事業費計	19,552	50,256			主な 取組 内容 【R7】	・水道GLPの認定継続 ・水質検査用機器の更新と定期的な分解点検修理、部品取替		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	19,552	50,256						
	(執行率)	95%	70%						
人役	正規職員	5.0	5.0	5.0		特記 事項			
	その他	1.0	1.0	1.0					
	合計	6.0	6.0	6.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和10年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	水質基準不適合率		目標	0	0	0	0	安全で安心できる水の安定供給ができて いる。	
			実績	0	0				
	現状維持	率	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	水質の適正管理と精度の高い検査を行ったことで、安全で安心できる水の安定供給ができています。							
課題	特になし					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	安全で安心できる水の安定供給が出来て いる。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当G	施設の更新・修繕担当ほか	連絡先	977-7439
------	-------	-----	----------	-----	--------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

1.事業概要【Plan】		公営企業局事業区分		上水	○	簡水	○	工水	○	下水	
事業名	施設の更新・改良事業(設備の更新・改良)	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)				事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)			
0823											
政策【分野】	にぎわいと住みやすいまちをつなぐ【都市空間】	各種計画該当	総合計画(実施計画)				市長公約				
政策別未来像	都会と田舎の住みやすさが共存している		○				－				
施策	安全な都市基盤の整備	根拠法令	水道法第22条の4、工業用水道事業法第11条、水道ビジョンまつやま2019、松山市簡易水道事業経営戦略、松山市工業用水道事業経営戦略								
主な取組	安定した水の供給と汚水処理										
目的・背景		【目的】安全で安心できる水の安定供給を目的としている。 【背景】老朽化が進む水道施設の更新を着実に進める。									
対象・内容		【対象】水道事業に使用している施設、設備 【内容】施設、設備の更新計画に基づき、更新改良工事を実施									

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	水道事業会計ほか	款	資本的支出ほか	項	水道建設改良費 ほか	目	取水設備費ほか
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	上水道用施設更新工事		335,794
予算 (千円)	事業費計	1,359,954	2,095,514	3,473,423			中島簡易水道施設更新工 事	33,353	
	国費・県費	8,400							
	市債		85,400	102,900					
	その他	12,600	85,400	102,900					
	一般財源	1,338,954	1,924,714	3,267,623		工業用水道施設更新工事	18,296		
決算 (千円)	事業費計	699,958	387,444			主な 取組 内容 【R7】	・市之井手浄水場電気棟新築工事 ・大浦第3浄水場ほか水質計器更新工事 ・かきつばた浄水場工水700系流量計更新 ほか工事		
	国費・県費	8,400							
	市債								
	その他	12,600							
	一般財源	678,958	387,444						
	(執行率)	51%	18%						
人役	正規職員	9.0	8.0	8.0		特記 事項	1,532,900千円をR7年度からR8年度へ 繰り越し		
	その他								
	合計	9.0	8.0	8.0					

3.事業評価（検証・改善）【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和10年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	設備故障に起因する断水回数		目標	0	0	0	0	計画的な施設・設備の更新改良により、安全で安心できる水の安定供給ができています。	
			実績	0	0				
	現状維持	率	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	計画的な施設・設備の更新改良により、安全で安心できる水の安定供給ができています。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給を継続するため、引き続き、計画的な施設の更新改良を行う。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当G	浄水管理担当ほか	連絡先	977-7437
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

1.事業概要【Plan】		公営企業局事業区分		上水	○	簡水	○	工水	○	下水	
事業名	施設の運転・維持管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託						
0823											
政策【分野】	にぎわいと住みやすいまちをつなぐ【都市空間】	各種計画該当	総合計画(実施計画)				市長公約				
政策別未来像	都会と田舎の住みやすさが共存している		－				－				
施策	安全な都市基盤の整備	根拠法令	水道法第22条の2、工業用水道事業法第14条、水道ビジョンまつやま2019、松山市簡易水道事業経営戦略、松山市工業用水道事業経営戦略								
主な取組	安定した水の供給と汚水処理										
目的・背景		【目的】安全で安心できる水の安定供給を目的としている。 【背景】業務の効率化やコスト削減を図るため水道施設の運転等管理業務や関連業務の委託を開始した。									
対象・内容		【対象】水道を供給するために使用している施設、設備 【内容】運転・維持管理業務において民間活力を活用することで、効率的かつ効果的な施設管理を行う。 施設・設備の修繕業務、産業廃棄物に関する業務 取水補償に関する業務									

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	水道事業会計ほか	款	水道事業費用 ほか	項	営業費用	目	原水及び浄水費 ほか
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	委託料		522,330
予算 (千円)	事業費計	1,649,389	1,619,579	1,608,096			動力費(電気代)		513,311
	国費・県費						施設・設備の修繕費		107,807
	市債								
	その他								
	一般財源	1,649,389	1,619,579	1,608,096					
決算 (千円)	事業費計	1,458,082	1,449,230			主な 取組 内容 【R7】	・市之井手浄水場ほか運転等管理委託 ・市之井手浄水場排水処理設備修理工事 ・補償井戸揚水経費代		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,458,082	1,449,230						
	(執行率)	88%	89%						
人役	正規職員	10.0	9.0	9.0		特記 事項			
	その他			1.0					
	合計	10.0	9.0	10.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	設備故障に起因する 断水回数		目標	0	0	0	0	適切な維持管理を行うことで、安全で安心 できる水の安定供給ができています。	
			実績	0	0				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	適正な維持管理を行うことで、安全で安心できる水の安定供給ができています。							
課題	特になし					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	適切な維持管理を行うことで、安全で安心 できる水の安定供給ができています。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当G	水質保全担当	連絡先	977-0292
------	-------	-----	----------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

1.事業概要【Plan】		公営企業局事業区分	上水	○	簡水		工水		下水
事業名	水資源の保全事業(水質保全策の推進等)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)			事業区分	1:直営		
0823									
政策【分野】	にぎわいと住みやすいまちをつなぐ【都市空間】	各種計画該当	総合計画(実施計画)			市長公約			
政策別未来像	都会と田舎の住みやすさが共存している		－			－			
施策	安全な都市基盤の整備	根拠法令	松山市石手川流域に係る水道水源の水質の保全に関する条例、水道ビジョンまつやま2019						
主な取組	安定した水の供給と汚水処理								
目的・背景		【目的】水源である石手川ダム集水域の環境を保護し、生活排水等による水質汚濁を防止することを目的としている。 【背景】ダム周辺の環境悪化が懸念されたため、各種水源保全事業を開始した。							
対象・内容		【対象】水源保護区域である石手川ダム集水域の住民 【内容】水道水質保全推進員の委嘱により水道水源の保全に関する調査・施策の普及を図るとともに啓発を促進する。 対象世帯のくみ取り費に補助金を交付し、ダム集水域の環境保全を図る。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	水道事業会計	款	水道事業費用	項	営業費用	目	原水及び浄水費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	ダム集水域のくみ取り費補助金		2,665
予算 (千円)	事業費計	3,987	3,987	3,852			水源水質保全推進員の報償費		612
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,987	3,987	3,852					
決算 (千円)	事業費計	3,346	3,277			主な 取組 内容 【R7】	・ダム集水域の世帯に、し尿処理手数料を補助した。 ・水源水質保全推進員を委嘱し、水道水源の水質の保全に関する業務を行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,346	3,277						
	(執行率)	84%	82%						
人役	正規職員	2.0	2.0	2.0		特記 事項			
	その他								
	合計	2.0	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和10年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	水質基準不適合率		目標	0	0	0	0	安全で安心できる水の安定供給ができて いる。	
			実績	0	0				
	現状維持	率	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	水道水源の保全に努めたことで、安全で安心できる水の安定供給ができています。							
課題	特になし					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	安全で安心できる水の安定供給ができて いる。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当G	浄水管理担当	連絡先	997-7437
------	-------	-----	----------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

1.事業概要【Plan】		公営企業局事業区分		上水	○	簡水	○	工水	○	下水	
事業名	脱炭素化事業(水道LED化事業)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)				事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)			
0911											
政策【分野】	豊かな自然と暮らしをつなぐ【環境】	各種計画該当	総合計画(実施計画)				市長公約				
政策別未来像	自然を大事にして、環境にやさしい暮らしをしている		○				—				
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進	根拠法令	水道ビジョンまつやま2019 第6期松山市役所温暖化対策実行計画								
主な取組	温室効果ガスの削減										
目的・背景		【目的】温室効果ガス排出削減を図ることを目的としている。 【背景】「第6期松山市役所温暖化対策実行計画」に基づき、水道施設照明のLED化を推進する。									
対象・内容		【対象】水道事業に使用している施設の照明 【事業内容】水道施設照明のLED化工事を実施									

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	水道事業会計ほか	款	資本的支出ほか	項	水道建設改良費 ほか	目	水道施設整備 事業費ほか
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	水道施設照明設備改修工 事		1,551
予算 (千円)	事業費計	0	5,392	108,191					
	国費・県費								
	市債			50,650					
	その他			50,650					
	一般財源		5,392	6,891					
決算 (千円)	事業費計	0	1,551			主な 取組 内容 【R7】	・市之井手浄水場水質管理棟事務室照明設 備更新工事		
	国費・県費								
	市債		500						
	その他		500						
	一般財源	0	551						
	(執行率)	0%	29%						
人役	正規職員		1.0	2.0		特記 事項	10,700千円をR7年度からR8年度へ繰り 越し		
	その他								
	合計	0.0	1.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	LED化工事実施施設数		目標	-	14	39	172	計画どおり発注は行ったものの、全国的な機器の在庫不足により繰越工事となった。	
			実績	-	11				
	累計で増	施設	達成率	-	79%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	全国的な機器の在庫不足により繰越工事となったが、計画どおり発注できており、概ね順調である。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、計画的な施設の更新改良を行う。